

流清

佐賀市立川上小学校 学校だより No.19
令和3年3月2日(火) 発行 文責 永原 里美
学校教育目標【ふるさとを愛し、ともに学び合い、
心豊かに逞しく生きる子どもを育てる】
学校HP
<https://www.education.saga.jp/hp/kawakami-e/>



いよいよ3月・ラストスパート

今年度もいよいよ最後の月になりました。6年生にとっては、卒業まで3週間を切りました。6年生の教室からは、もう卒業式の「お別れの言葉」を練習している声が聞こえ始めました。

他の学年も今学年のラストスパートに入りました。各教科の学習もまとめや振り返りをしている場面をよく見かけられるようになりました。そろそろまとめのテストも始まる頃です。「今、身につけておくべきことは、今の学年のうちに」が理想です。何事も積み重ねが大切ですね。

6年生を送る会

2月26日(金)に、6年生を送る会を行いました。例年だと保護者の皆様にも参観いただいていたのですが、今年度は感染症予防のため児童のみで行いました。どの学年からも6年生への感謝の言葉や6年生は、すごいという憧れの気持ちが表れていました。

<1年生> 6年生と一番関わりが深かったのが1年生です。入学式の時、6年生が手をつないで入場してくれたのですが、今度は1年生が手をつなぎ6年生をエスコートしました。



<2年生> 2年生にとっても6年生は憧れの存在でした。中でも運動会の応援団の姿が印象に大きいようで、送る会でもその時の6年生の姿を真似して披露しました。



<3年生> 3年生も「6年生は、すごい。」と、学校生活の様々な場面で活躍した6年生の姿を寸劇で紹介してくれました。



<4年生> 6年生が生まれた2008年から今までのおもな出来事を紹介しました。映画「ハリーポッター」が大ブレイクしたこと等、4年生ながらよく調べており「そうそう」と懐かしく思い出しました。



<5年生> 5年生は、一番少ない人数ながらもいろいろな楽器を使った合奏を披露しました。そして、6年生への感謝の言葉と同時に力強く「次は、私たちが責任をもって引き継ぎます。」と宣言してくれました。



<6年生> 6年生は、6年間の思い出を振り返りました。とことろに笑いを散りばめた演出には、「さすが、6年生」という要素がふんだんでした。



<職員> 職員も「3月9日」を熱唱しました。



全員マスク姿のスナップ写真。早く「そんな時もあったね。」と言える日が来るといいですね。卒業式は、5,6年生のみ参加にしていますので、全校が集まるのもこれが最後でした。